

平成27年度第3回千代田区魅力発信会議 会議録（概要）

平成27年11月12日（木）
千代田区役所4階401会議室

【1 開会】18:30

オリンピック・パラリンピック担当課長より挨拶

これまで委員の皆様には、5つのテーマ（行く・住む・居る・支える・伝える）に分かれ、千代田区の魅力を幅広い角度から掘りおこすための議論をおこなっていただいた。今後は、平成28年度に、体系化した魅力を発信していくことを見据え、「区内（在住・在勤・在学）の方向けのシティプロモーション」「区外の日本人の方向けのプロモーション」「区外の外国人の方向けのシティプロモーション」という対象者（3者）に向けて、どう発信していくかという視点で議論を発展させていただく旨を伝える。

各テーブルに着席する区の管理職の紹介

●参考資料「第3回千代田区魅力発信会議ファシリテーター等同席者名簿」

【2 議題1 会議の公開・非公開について】

座長

●会議の公開／非公開の確認

事務局

●会議の傍聴希望者はなかった旨説明

座長

●承認

【3 議題2 前回の振り返りと今後の方向性について】

受託事業者

●前回の振り返りと今後の方向性について説明

「行ってみたい千代田」チームの振り返り

- ・観光資源やまち並み、食べ物についての議論がメイン。
- ・外国人の目線での議論を行った。（居酒屋・お寿司屋の外国語表記がない）
- ・外国人の方には、メイドカフェや猫カフェが人気。そういうスポットを発信していくというのにも必要なのではないか。

「住んでみたい千代田区」チームの振り返り

- ・住んでいる方が気付いていない魅力、また住んでいないのに区外の方が気付いている魅力が存在するということ（ギャップ）を認識。
- ・住んでいる人とこれから住む人の間で、魅力の共有が行われると良いのではないかとの意見がでた。

「居てみたい千代田」チームの振り返り

- ・秋葉原などの各地域に行きたい観光客はいても、千代田区そのものに行きたいという観光客はいない。千代田区という枠にとらわれず、銀座など他の地域との連携も必要なのではないか。
- ・滞留時間をどうやって増やすかという点が課題。

「支えていたい千代田」チームの振り返り

- ・お祭りなどの地域イベントの活用や、図書館や美術館など既にある施設の活用が求められるのではないか。
- ・11の大学の学生を活かした取組みをしていってはどうか。

「伝えてみたい千代田」チームの振り返り

- ・将門の首塚などダークなイメージのある資源であり、皇居のある、「高貴な（ノブルな）千代田区」という現在のイメージの対極にある魅力的な一面なのではないか。

※Facebook に関して、どんな小さなことでもよいので、日頃気づいた魅力を投稿して頂けるようお願い。

座長

- 承認

【4 議題3 千代田区の魅力掘りおこしについて】

受託事業者

- 前回のアンケート結果の一部訂正

前回の資料では、区民向けアンケートについては、回答数で割り、昼間区民と区民外はサンプル数で割ったものをお出ししていた。

データを並列でみるため、区民向けアンケートもサンプル数で割ると、90%以上の方が皇居を魅力として回答していた。

皇居・交通の利便性を魅力としている部分に変わりはなかった。

改めて、区民の「皇居」への愛着、誇りがより強調される結果となった。

●現状と今後の方向性の確認

- ・前回までに掘りおこされた魅力の解説と共有
- 個別の魅力が比較的多く出る傾向にあった
- ・対象者（3者）に向けて発信することで、プロモーション効果を高めるという方向性の共有
- ①区内向け（コミュニティ、地域のつながりにかかわる魅力）
- ②区外向け（観光的な要素の強い魅力。見る・食べる・遊ぶ）
- ③外国人向け（観光的な要素がより強い魅力）

掘りおこされた魅力を、カテゴリー別に分け、重み付けをすることで資源を整理する方向性の確認

- ①大カテゴリー（魅力・資源の全体像が分かるレベル）
- ②中カテゴリー（魅力・資源の個別内容が分かるレベル）
- ③小カテゴリー（魅力・資源の個別情報が分かるレベル）

行政として魅力を発信していくとなると小カテゴリーでの発信は難しい
→中カテゴリーの魅力を「千代田区の魅力」として発信していく

●ファシリテーターの紹介

●ワークショップ実施

3グループに分かれ、魅力の掘りおこしを実施し、中間発表を行う。

①区内向けグループ

下記の魅力について議論

- ・安心・安全につながる行政サービスの充実
- ・建物と自然の調和、風景
- ・学生の多い街（学食、学園祭なども魅力）
- ・お祭り、イベント
- ・区民の気質（千代田区への誇り、プライド）
- ・隠れた歴史の多さ

②区外向けグループ

千代田区の歴史に特化して区外への発信を主に議論

- ・千代田区内の地域の成り立ちは様々
- ・地域らしさ、地域の風情を売り出すべき

- ・テーマ性のある区内ツアーや散策道などを作るべき
- ・大江戸文化の集まる土地

③外国人向けグループ

下記の魅力について議論

- ・日本美術が集まる
- ・千代田の街並み（神田の路地、神社、公園、お堀）
- ・外国人ゆかりの地
- ・皇居（皇居の外観、皇居の中ともに魅力）
- ・各地に根付く文化（神田の出版、秋葉原のポップカルチャーなど）

●全体共有、全体像の把握

全体でグループを自由に移動し、引き続き議論

その後、各委員により、中項目の重み付け作業を行う

委員より重要とされた中項目は、主に下記の魅力

①区内向けグループ

- ・行政サービスの充実
- ・区民の知らない歴史、名所旧跡

②区外向けグループ

- ・千代田区の地域らしさ
- ・江戸の風情
- ・イベント、祭り

③外国人向けグループ

- ・千代田区の老舗
- ・日本文化の発信拠点
- ・美術館、博物館の多さ

座長

- 承認

朝倉教授

- 総括

魅力が多すぎるが故の難しさを感じた。

行政の魅力発信においては、個別情報の発信について制約も多いため、今後、事務局側での一層の精査、カテゴリーの整理が必要ではないか。

座長

●総括

「祭り」という魅力一つとっても、参加者（区内）と観光客（区外・外国人）では感じる魅力、見えるものが全く違う。

また皇居も、外から見る魅力と中に入って見る魅力はまた違うものである。そのような、「切り口の違い」を大切にし、議論を深めることで、次年度以降に良い化学反応が起こることが期待できる。

事務局

●中間報告について説明

これまでの議論の内容をもとに、事務局と座長で中間報告書のたたき台を作成することを説明。（委員より承認の拍手）

【5 議題4 その他】

事務局

●議題が全て終了したことを宣言

次回実施が12月17日（火）午後6時30分になることを宣言して終了

【6 開会】21:00